

# しか版 いきものみつけ

発行:いきものみつけファーム滋賀  
推進協議会  
編集:事務局 竜王  
住所:甲賀市土山町黒川  
電話:090-7966-2262  
FAX:0748-68-0598  
E-mail:ryuoh-ntm@maia.eone.ne.jp

平成 26 年 6 月 26 日 発行

VOL.2.

## 今月のいきものみつけ いきもの観察&芋の苗付け



何かいるかな??



兄弟仲良く芋の苗植え



目印されたマルチシートに 100 本の芋の苗を植えました。秋の収穫が楽しみです



水路にはたくさんのいきもの



けっこう重いぞ 2歳 ひなりちゃん



雨水も食の確保に大切な資源です。

六月一四日、梅雨の中休みの晴れ間中、一九名の親子たちが山内に集まりました。

まずは、田植えをした田んぼに行き、自分たちで植えた苗がどうなっているかの観察、なんと三本の苗が十七本になっていました。思いのほか、行儀よく生育している田んぼで育つ苗たちになんとなく愛着を持つ子どもたち。

そして、あぜ道をおくるとオタマジャクシたちが、すぐに反応して水面の下で、たいへんたいへんと聞こえそうなくらい動きが活発になりました。

オタマジャクシからカエルになる途中で、シッポが残ったカエルもおく見たらなにか動いている貝エビ、カワニナ、水路には川ムツがいきました。外に出たら、大人が何も言わなくても子どもたちはいろいろなものを見つけて目があるんだなあと感じます

もちろん保護者も大興奮、肉眼&スマホで写真をとったり、子どもたちは記録シートへ記入しました。

そして、場所移動をして、いざ芋の苗植えへ、さつも芋の苗植えは、参加者の半数が苗植えをした経験がないものばかり、松岡さんの指導の元、一族に十本ずつの苗を渡され、土に穴を掘って指して行きました。そして、最後に、「おいしく育ちますように」とお願いをしました。

秋の収穫が楽しみです。

そして、初参加の北勇聖くん(小3)が「僕がみんなの分も水やりする」ひとりで頑張っています。ジョウロで水やりしてくれています。気がつけたい鹿の電気柵にも「危ないで」と子どもたちが声を掛け合うようになりました。

松岡さんからのサプライズサービースで春まき大根の収穫体験。ちっちゃな子どもたちにちょうどいい大きさの大根。もちろん土が付いているから、このままでは持って帰れない。雨水をためた水槽で、澱んだ水槽に大根を落とさないように気をつけながら、大根を洗いました。

食べることにありつけるためには、水が欠かさない、この水は決まてきれいでなくても(雨水が)しっかりと命の水としての役割を果たしてくれるんだ。ジャブジャブ、子どもたちの一生懸命な様子から親たちも学びました。小玉ねぎのネット詰め放題もしてさぞかしおいしい夕食ができたことでしょう。

みんなの笑顔で、なにもないと思える里山が映えた今月の寺子屋でした。みんなの笑顔と自然に感謝。

子どもエコクラブに登録します  
いきものみつけ寺子屋

チームとして動きかけている  
「いきものみつけ寺子屋」

全国には多くの子どもエコクラブがあります。情報を交換しながら学んでいきます。

本部は、東京都公益財団法人日本環境協会です。いきものみつけプロジェクトの全国事務局でもあります。なお、個人名では登録していません。



# いきものみっけファーム滋賀 推進協議会 定期総会

H26.5.27

平成24年12月の設立以来の定期総会を無事終えることが出来ました。産官学民での協働取り組みとしての当協議会、県事務所、甲賀市、日野町を始めJAの幹部職員の方々と農家の方、専門委員に来ていただきました。顧問の上野幸夫氏からは、「推進協議会の自立に向けた取り組みを期待する」とエールをいただきました。承認をいただきました平成26年度の事業計画の一部を紹介いたします。



上野幸夫氏より  
「産地競争力をつけられ  
前での経営を目指してほ  
い」とのエール。

## ★食農部

- ・米や農作物の流通に係る他機関との調整をして、事業展開する。
- ・生産者に栽培指導・営農指導会の実施
- 「米の精」等の斡旋・取りまとめ・JAとの流通交渉・数量管理
- ・「すずか姫」認証シール発行と米の商品価値向上への研究
- ・有利な販売に向けた流通システムの構築研究
- ・JA等との共同主催の研修会の企画、開催

## ★星学部（環境学習部）

- ・いきものみっけ寺子屋の開催 5月から月に1回の頻度で11月まで→環境学習プログラム開発
- ・寺子屋による発表・発信
- ・食育・環境学習（寺子屋）運営・ツーリズム運営・イベント⇒いきものみっけエコクラブ

## ★研究部

- ・寺子屋への協力
- ・魅力あるいきもの観察シートの完成へ
- ・持続可能な組織への示唆
- ・米の精による乳酸発酵が土壌微生物の変化に与える影響とそのことによる玄米品質（成分組成）の変化等についての科学的な裏づけ
- ・大学連携、食文化研究

## ★総務部

- ・推進協議会の規約・組織の改訂
- ・ホームページの活用
- ・ニュースレターの定期発信
- ・新聞・テレビ等公共メディアの効果的な活用

## 編集後記

総会が終わってホッとするとそのつつかの間  
あっという間に夏が来ます。

農家さんたちは、深水管理の時期だと聞いています。子どもも苗も目をかけながら見守ることが、大切なんでしょうね。すぐには成果は上がらないけれど、みんなでワイワイするプロセス重視で行きたいと思っています。



# メンバーよりひとこと

立命館大学 経済学部教授  
金井 萬造



新年度の平成26年度も6月の後半となり活動もはじまっています。新しい組織名称として、「専門部会」から「研究部会」に変わり、三田村先生から金井が部長を務めさせていただきます。部長として、新年度にあたり、抱負を述べます。大きいことを言って、どれだけ、取組みを進められるか心配ですが、会員の皆様やご参加いただける方々、関係機関の方々のご支援・ご協力を頂いて、楽しい取組みでお互いの力の交流と協力で、発展させていきたいと思っています。子供・環境・地域・現地・実践・学び等の要素での取組みの発展系として、生物環境・観察学習・現地での農業発展・滋賀地域と家族ぐるみの活動へ目的を拡大して、地域構成員のみんなの絆・知恵・理解と楽しい交流・地域から学びと未来づくりに向けての取組みを見通しています。本当に楽しく、世代を超えての交流で楽しく参加して行きましょう。

「研究部会」はそのために、貢献できるように部会員の専門家の皆さんの協力に対応していきます。よく分らないことは、教えて頂き、研究と現場・みなさんと地域の特徴に学び合い、参加していきたいと思っています。

金井への連絡は、携帯が 090-5165-0228 です。  
メールは [kanai-mz@ec.ritsumei.ac.jp](mailto:kanai-mz@ec.ritsumei.ac.jp) です。または、総務部・事務局経由でお願いします。



## これからの寺子屋予定

### 7月の寺子屋

日時:7月20日(日曜日) 10時~15時30分  
場所:山内地先 定員:子ども30名  
内容:いきもの観察、苗観察、川調査  
自由工作①木工パズルの絵付け  
②ガラスアート  
①か②のどちらかを選びます。  
昼食付き(おもてなし昼食)  
16時から希望者は、自由研究講座  
参加費:1500円  
自由工作参加者は+500円



### 8月の寺子屋

- 8月12日(火曜日)9時半~15時半  
場所:山内地先 定員:子ども20名  
内容:川遊び、  
韓国環境を勉強に来た小学生たちとの交流  
参加費:1500円
- 8月13日(水曜日) 定員:子ども10名  
琵琶湖博物館ツアー  
(琵琶湖プランクトン観察講座、琵琶湖博物館見学)  
バスで行きます。  
参加費:1500円 / 一人  
(自家用車の方は1000円/一人)

### ★オプションツアー

- 8月12日~13日 一泊二日コース  
4500円(宿泊・食事・バス代)

※3歳以下は無料、小学3年生以下は保護者同伴

寺子屋 ボランティアスタッフ募集してます